



栃木県公報

令和 7 (2025) 年
12 月 25 日 (木)
号 外
第 57 号 の 2

目 次

告 示

○家畜伝染病予防法第30条の規定による命令..... 1

告 示

栃木県告示第537号の2

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第30条の規定により消毒方法の実施を命ずるので、家畜伝染病予防法施行規則（昭和26年農林省令第35号）第15条第1項の規定により次のとおり告示する。

令和 7 （2025） 年 12 月 25 日

栃木県知事 福 田 富 一

- 1 実施の目的
高病原性鳥インフルエンザのまん延を防止するため
- 2 実施する区域
県内全域
- 3 対象農場
鶏、あひる、うずら、きじ、エミュー、だちょう、ほろほろ鳥又は七面鳥を100羽以上（エミュー及びだちょうにあっては、10羽以上）飼養している農場及びその他所轄家畜保健衛生所長が必要と認める農場
- 4 実施の期日
令和 7 （2025） 年 12 月 26 日から令和 8 （2026） 年 5 月 31 日まで
- 5 消毒方法
農場（鶏舎その他の家きんの飼養施設の周囲及び農場外縁部）における消毒薬その他家畜保健衛生所長がこれと同等と認めるものの散布

（畜産振興課）